

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号: 8732 東証第一部)
 問合せ先 財務部長 権代 徹也
 (TEL. 03-4540-3804)

2020年9月次 月次概況(速報)のお知らせ

2020年9月次の当社グループの月次概況(連結ベース)を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年月	2020年3月期											
	2019年									2020年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位:百万円)	436	430	438	446	552	397	411	293	432	506	450	1,077
外国為替取引高 (単位:百万通貨単位)	64,962	85,708	73,679	70,709	121,698	72,241	69,676	43,497	45,475	60,432	87,717	163,604
外国為替取引口座数 (単位:口座)	331,528	332,653	333,795	334,878	335,861	336,996	337,918	338,691	339,443	339,790	340,014	340,483
外国為替取引預り証拠金 (単位:百万円)	64,226	63,060	64,426	64,422	63,282	63,293	64,021	63,383	63,183	69,788	66,290	65,510
一般顧客	57,695	58,098	58,594	58,474	59,231	58,929	59,250	58,536	58,072	64,763	61,596	62,895
金融法人(BtoB)	6,531	4,961	5,831	5,948	4,050	4,363	4,770	4,847	5,111	5,025	4,693	2,614
マネパカード口座数 (単位:口座)	152,808	153,899	155,079	156,330	157,321	158,101	158,861	159,676	160,307	161,324	162,167	162,655

年月	2021年3月期											
	2020年									2021年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位:百万円)	407	303	318	282	309	310						
外国為替取引高 (単位:百万通貨単位)	82,072	92,851	106,893	75,910	85,460	82,287						
外国為替取引口座数 (単位:口座)	340,605	340,735	340,825	340,830	340,840	340,768						
外国為替取引預り証拠金 (単位:百万円)	62,460	62,004	61,807	62,331	62,751	65,155						
一般顧客	60,227	59,654	59,267	60,022	60,364	63,044						
金融法人(BtoB)	2,232	2,350	2,539	2,309	2,386	2,111						
マネパカード口座数 (単位:口座)	162,828	163,034	163,058	163,086	163,138	163,159						

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。
2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 2011年8月より差金決済取引(CFD)の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高(原取引単位を米ドルに換算)及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとBtoB取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。
5. 2020年7月27日より連結子会社のコインエージ株式会社が暗号資産交換業者としてビットコイン現物販売所を開業しており、「営業収益」には2020年7月より同社の数値を含めて表示しております。

< 9月次の概況 >

9月の外国為替相場は、米ドル／円については、1ドル＝105円台後半で取引が始まり、米8月製造業PMI改定値が2019年1月以来の高水準となったことや米8月ISM製造業景況指数が予想を上回ったことでドル買いが進み、3日には106円台半ばの高値を付けました。その後は、米中对立懸念や米国の追加財政政策を巡る不透明感からドル売りが優勢となりました。16日のFOMCでは2023年まで低金利を維持するとの見通しが明らかになると104円台後半まで下落し、21日には104円の安値を付けました。しかし、対欧州通貨での動きに連れたドル買いや、底堅い米株価や堅調な景気指数に支えられて値を戻し、105円台半ばで月末を迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨についても、概ね米ドル／円と同様の推移となりました。外国為替相場の変動率は、前月と比べて米ドル／円については約52%の低下、欧州・オセアニア通貨については英ポンド／円と豪ドル／円が値動きを拡大した他は総じて低調な水準となり、主要な取扱い通貨ペアの平均では約7%の低下となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は前月比4%減少の822億通貨単位となりました。一方、営業収益は、前月に引き続き新型コロナによる市場の混乱からの金利低下の影響を受けたものの、相対的に収益性の低い米ドル／円の割合が低下したこと等から全体の収益性が回復し、前月に比べほぼ横這いの310百万円となりました。また、外国為替取引預り証拠金は一般顧客分が増加、金融法人分が減少となり、全体では2,404百万円増加の65,155百万円となりました。

以 上